

# 国産濃厚飼料の生産・利用の推進

- ・ 国産濃厚飼料の生産への取組として、「イアコーンサイレージ※」や「子実とうもろこし」に関する取組を推進。
- ・ イアコーンサイレージは、平成20年頃から北海道で生産を開始。
- ・ 子実用とうもろこしは、
  - (1) 水田や畑における輪作体系に取り入れることにより、①排水性の改善、②緑肥による地力改善、③連作障害の回避が可能。
  - (2) 飼料用米等と比べ単位面積当たりの労働時間が少なく、労働生産性が高いが、普及を図っていく上では、生産コストの低減や専用収穫機の導入、安定した供給体制の構築(需要者とのマッチング、保管施設の確保)が必要。
- ・ イアコーンサイレージや子実用とうもろこしの生産・利用拡大を図るため、モデル実証に必要な収穫専用機械の導入等を支援。

国産濃厚飼料(R3作付面積:1,060ha(推計))

## イアコーンサイレージ※

とうもろこしの実を外皮ごと収穫し、子実・芯・外皮をサイレージ化した飼料

→ **牛・豚に給与可能**



ハーベスターによる収穫  
(専用ヘッド装着)



ロールペーラーによる梱包・保存

## 子実とうもろこし

とうもろこしの子実のみを収穫・乾燥した飼料

→ **牛・豚・鶏に給与可能**

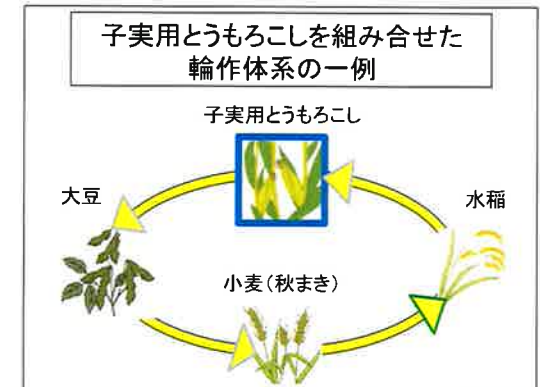
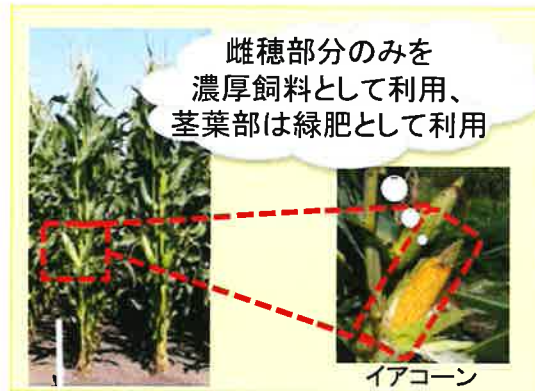


コンバインによる収穫(専用ヘッド装着)



収穫された子実

※イアコーンのイア(ear)とは、とうもろこしの雌穂(子実・芯・外皮)の部分指す。



### 【R4年度】畜産生産力・生産体制強化対策事業 (飼料生産利用体系高効率化対策のうち国産濃厚飼料生産・利用拡大対策)

- ・ 生産実証支援  
生産実証に必要な技術指導や生産機械のレンタル経費等の支援(補助率:定額、1/2以内)
- ・ 生産モデル支援  
生産モデル確立に必要な需給マッチングや生産機械の導入等の支援(補助率:定額、1/2以内)
- ・ 子実用とうもろこしの種子確保に向けた調査  
(補助率:定額)

### 【R3年度補正】新市場開拓に向けた水田リノベーション事業

- ・ 実需者ニーズに応えるための低コスト生産等の取組支援  
水田リノベーション産地・実需協働プランに参画する生産者が、実需者ニーズに対応するための低コスト生産等に取り組む場合に、取組面積に応じて支援(補助率:子実用とうもろこし4万円/10a)
- ・ 需要の創出・拡大のための機械・施設の整備支援(補助率:1/2以内)